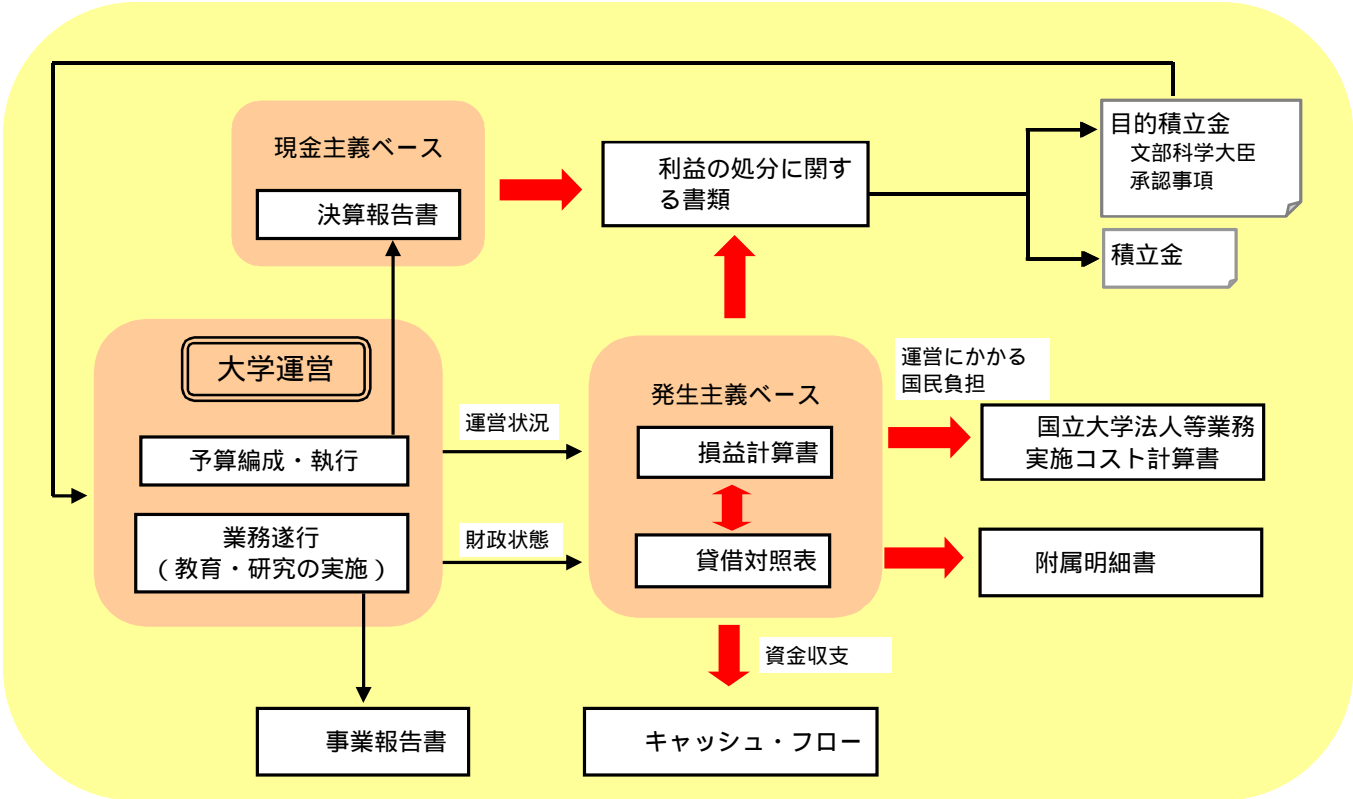


国立大学法人会計の仕組み



国立大学法人の会計は以下のような特徴があります。

企業会計に準拠

国の時代の収支会計と異なり、国立大学法人は企業会計に準拠した会計基準（国立大学法人会計基準）にしたがって、財務諸表を作成しております。ただし、税金を主財源として運営しており、情報開示充実の観点から企業会計にはない書類(上記 国立大学法人等業務実施コスト計算書)や、国の会計に準拠した書類（上記 決算報告書）も作成しております。

損益均衡の会計処理

教育研究機関である国立大学法人の特性に配慮し、企業会計に一定の修正を加えた会計になっており、計画通りの業務運営を実施することで損益が均衡する仕組みが採用されております。

主な例としては、固定資産を取得した際に、期間配分される減価償却費という費用に対応させるために資産見返負債という負債勘定にいったん財源を振り替えて、費用化額と同額を収益化しています。

経営努力を考慮

国立大学法人の経営努力により剰余（利益）が生じた場合、翌年度以降の業務運営の財源として充て可能な仕組みになっております。（上記 利益の処分に関する書類）

決算の概要

(単位：百万円)

財務諸表等	科目	平成20年度	平成21年度	増減額	
大学の 財政状態	貸借対照表				
	資産	57,591	65,670	8,079	
	負債	26,567	32,595	6,028	
	純資産	31,023	33,075	2,052	
大学の 業務活動	損益計算書				
	費用	32,443	33,626	1,183	
	収益	33,182	35,285	2,103	
	損益	738	1,659	921	
	(目的積立金申請額)	325	0	325	
大学の 資金の流れ	キャッシュ・フロー 計算書				
	業務活動	3,108	3,520	412	
	投資活動	3,754	5,987	2,233	
	財務活動	1,133	3,541	2,408	
	資金期首残高	7,226	7,713	487	
	資金期末残高	7,713	8,787	1,074	
国民の皆様 の負担額	国立大学法人等 業務実施コスト 計算書	実施コスト	13,193	14,517	1,324
収入・支出 の状況	決算報告書				
	収入	40,907	43,340	2,433	
	支出	40,172	42,617	2,445	
	収支	735	723	12	

平成21年度決算について

【貸借対照表】

資産総額は、約656億円で、前年度に比べて約80億円の増となっております。

主な要因：耐震対策事業として附属学校校舎等の改修を行ったことや補正予算による設備の取得及び病棟・診療棟新営工事による建設仮勘定の増となっております。

負債総額は、約325億円で、前年度に比べて約60億円の増となっております。

主な要因：病棟・診療棟整備事業に係る財政融資資金からの借り入れに伴う増となっております。

【損益計算書】

費用については、約336億円で、前年度に比べて約12億円の増となっております。

主な要因：各校舎棟改修に伴う費用の増、手術等の増加に伴う医療費の増及び診療機器の更新に伴う減価償却費の増、補助金獲得増に伴う教育・研究経費の増となっております。

収益については、約352億円で、前年度に比べて約21億円の増となっております。

主な要因：附属病院収益の増、補助金等獲得に伴う増及び精算のために収益化したことによる運営費交付金収益（臨時利益）の増が大きな要因となっております。

効率化係数による運営費交付金の減額や総人件費改革を踏まえた人件費削減に対応できるよう計画的な人員削減及び光熱水費等管理的経費の節減を進めております。一方で、外部資金獲得の増加に向けた活動、平均在院日数の短縮等による病院収入の増等、自己収入の増加に向けた取組を行っております。

